

## 学校評価アンケート結果について

立春も過ぎ、暦の上では春となりましたが、まだまだ寒さが続く中、保護者の皆様にはご健勝のことと存じます。

学校評価アンケートの結果についてお知らせいたします。今後の学校教育活動の改善資料とさせていただきます。ご多用の中、ご協力をいただきましてありがとうございました。

※「すごく思う」「そう思う」＝プラス評価、「あまり思わない」「まったく思わない」＝マイナス評価として表記しています。

※児童、保護者、教職員の3者を比較しました。

※教職員は他に比べて少数のため、傾向として考えていただけたらと思います。

### ○学校は楽しい

今年度、児童も保護者も90%ほどがプラス評価の回答で、昨年度同様のプラス評価が多く見られます。学校生活を楽しいと感じている児童が多くいます。理由の一つとして友達とのかかわりがあげられます。「友達と仲良くしている」の結果は、プラス評価が90%ほどいます。また、「悩みを相談できる友達がいる」と回答した児童も、80%を超えました。おおむね友達関係が、よくなっている結果となりました。

しかし、「楽しくない」「あまり楽しくない」と回答した児童は、全体の10%となっています。これからも、クラスだけでなく、委員会やクラブ、たてわり活動で、より豊かな人間関係を築いていくことを大切にしていきます。「楽しくない」「あまり楽しくない」との回答については、原因にコロナ禍での活動の減少もあると考えられます。少しでも学校が楽しいと思えるよう、より一層の支援を続けます。

### ○朝食を食べて、登校している・家でも歯をみがいている

「朝食を食べて登校している」は、児童・保護者ともに90%以上がプラスの評価でした。昨年度に引き続き、ほとんどの児童が朝食を食べて登校しています。「全く食べていない」という回答も若干ありましたが、全体的に意識を高くもつことができていると言えます。

育ち盛りの子どもたちに朝の栄養は欠かせません。朝食を食べないと意欲がわかず、脳が働かないため、学校の授業に集中できません。学校でも引き続き、朝食を食べる大切さを児童と考えていきます。今後も朝食をしっかりとって学校に登校できるよう、ご理解、ご協力をお願いいたします。

また、学校では、感染防止対策として今年度は給食後の歯みがきができませんが、代表委員会で歯みがき習慣について話し合うなど、可能な形で歯みがきに取り組んできました。「家でも歯をみがいている」に関しては、90%以上の児童がプラスの評価でした。歯みがき検査でも、多くの児童がAをもらうことができました。ご家庭でも保護者の方といっしょに歯をみがいている、あるいはみがき方のアドバイスを受けているという声が、児童から聞かれます。学校でも引き続き歯みがきに取り組んでいきます。

## ○授業でやっていることが分かる・授業は分かりやすい

授業について、分かりやすい授業で、やっていることが分かることと児童も教職員も90%以上が感じています。教職員も分かりやすい授業の工夫をしていて、児童も授業を理解しているようです。分からないことは気軽に友達や教師に聞けるクラス作りをして、教師だけが教えるのではなく、友達と教え合えるようにしていきたいと思います。友達と話し合う中で、様々なことに気付き、学んでいくことも多いので、これらを主体的で豊かな学びにつなげていきたいです。コロナ禍でガイドラインの中での活動となりますが、今できることを模索しながら、教員一同「みんなが分かる授業」に取り組んでいきます。

反面「めあてをもって学習している」と答えている割合が70%程でまだまだ低いので、新学習指導要領に沿ってめあてと振り返りを教師も児童も意識して授業にのぞめるよう、引き続き努力します。

## ▲授業中、自分から意見や考えを言うことができる

「授業中、自分から意見や考えを言うことができる」は、児童の70%がプラス評価をしています。それに比べると、保護者と教職員のプラス評価は60%を切っています。また「すごくそう思う」の割合も、児童と保護者、教職員の間には大きな差があります。昨年度とは違い、保護者と教職員は児童ほど「自分から意見や考えを言うことができる」ととらえていないこととなります。

コロナ禍で多様な学習場面を設定することが難しい中ではありますが、児童が積極的に意見を言えるように、魅力ある教材の開発にあたり、発問のしかたやヒントの与え方を工夫したりしていきます。また、自分の思いや考えを伝え合うのが楽しいと思える雰囲気づくりに努めます。

## ▲宿題以外の学習をしている

「宿題以外の学習をしている」では、70%ほどの児童が「そう思う」と回答しています。しかし、保護者は「そう思う」と回答しているのは50%ほどと、児童と保護者では差が大きくなりました。学校では、各学年に応じた宿題を毎日出しています。宿題に限らず、学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。毎日、少しずつでも良いので家庭学習を継続し、自ら進んで学ぶ習慣を身につけられるよう、ご家庭でもご協力ください。

## ▲テレビ、ゲーム、スマホなどを使う時間を決めている

「テレビ、ゲーム、スマホなどを使う時間を決めている」は、70%をこえる児童が「そう思う」と回答し、昨年度よりも上がっています。それに対して保護者は評価がやや低く、意識の差があります。

学校では、今年度もスイッチオフの取組を通し、脳の成長と生活習慣について指導をしています。しかし、日々の生活習慣は、ご家庭での声かけに依るところが大きいと思います。この機会に、鴨居中ブロックで取り組んでいる「スマートフォン・携帯電話等の取扱いに関して」をご覧になり、各ご家庭でお子様と決めたルールを再度確認の上、テレビ、ゲーム、スマートフォン等の使い方について話し合ってくださいよう、お願いいたします。

## ▲丁寧な言葉づかいをしている

「丁寧な言葉づかいをしている」は、児童の約80%がプラスの評価をしているのに対して、保護者は約60%、教職員は50%弱となっていて、大きな開きがあります。

今年度は人権週間をはじめ、互いに気持ちよく接するための言葉遣いについて、児童に投げかけてきました。しかし、まだ気づかないうちに相手を傷つけるような言葉の使い方をしている場面を見かけます。相手を大切に、適切な言葉を選んで話すことができるよう、引き続き指導していきます。

「進んであいさつができる」に関しても、「あかるく ① つも ② きに ③ づける」を意識して、引き続き指導したり、認めたりしていきます。